

ねりまつうしん

ねんなつごう
2024年夏号

たげん ごじょうほう しえんいん ちゅうごくごたんとう
多言語情報支援員(中国語担当)

さとう ゆきえ
佐藤 雪恵

たんごせつ 端午節

はる お なつ ちゅうごく なつ じゅうよう
春が終わり、夏がやってきました。中国では夏になると、もっとも重要
しゅくじつ むか たんごせつ まいとしきゅうれき がついつか さだ
な祝日を迎えます。それは端午節です。毎年旧暦の5月5日に定めて
しゅんせつ ちゅうしゅうせつ なら ちゅうごく さんだいでんとうせつ
います。春節、中秋節と並び、中国の三大伝統節句とされてい
ます。端午節は「端陽節」、「午日節」「夏節」などともよばれ、疫
たいさん やくよ なつ せつく おも たんごせつ
病退散や厄除けのための夏の節句として重んじられてきました。端午節に
かん だんせつ いろいろ いちばんゆうめい くつげん かん だんせつ
関する伝説が色々ありますが、一番有名なのは屈原に関する伝説で
くつげん ちゅうごくせんごくじだい きげんぜん せいき きげんぜん せいき そ
す。屈原は中国戦国時代(紀元前5世紀～紀元前3世紀)、楚という
くに せいじか ゆうめい しじん ひとびと しじ あつ ちい
国の政治家、有名な詩人です。人々の支持を集めていましたが、地位
うしな ついほう くに しんばい そ しょうらい ぜつぼう かわ
を失い、追放されました。国を心配し、楚の将来に絶望して川に
みな じさつ ひ きゅうれき がついつか くつげん
身投げしました。この自殺した日が旧暦の5月5日であったことから屈原
やす ねむ ねが たんごせつ
の安らかな眠りを願う端午節ができました。

たんごせつ ちゅうごくかくち さまざま ぎょうじ おこな なか りゅう
端午節には中国各地で様々な行事が行われます。その中で、龍

しゅうきょうそう ちまき たんごせつ たいせつ しゅうかん りゅう
舟 競争と粽を食べることは、端午節に大切な習慣です。龍
しゅう ちまき くつげん はじ ふうしゅう
舟も粽も、屈原を始まりとする風習とされます。

でんせつ くつげん な あと ひとびと くつげん いたい さかな た
伝説によると、屈原が亡くなった後、人々は屈原の遺体が魚に食
べられないように舟で川に出て、太鼓を叩くなど大きな音を立てて
さかな お はら がいつか ふね だ くつげん おも
魚を追い払いました。それから、5月5日に舟を出して屈原に思

よ しゅうかん りゅうしゅうきょうそう
いを寄せる習慣から龍舟競争へ

はってん おお おと
と発展していきました。また、大きな音
た さかな お はら どうじ さかな
を立てて魚を追い払ったと同時に魚
くうふく かわ にぎ はん
が空腹にならないように川に握りご飯
な ちまき た
を投げたということから、粽を食べる
しゅうかん はじ
習慣の始まりとなりました。



りゅうしゅうきょうそう たんごせつ いちばんたいせつ いべんと
龍舟競争は端午節で一番大切なイベントです。

りゅうしゅう ほそなが かたち りゅう あたま お かざ てこ ふね
龍舟とは細長い形で龍の頭と尾を飾った手漕ぎ舟です。



いっばんてき めーとる にん こ きょうそう とき たいこ
一般的に20~30メートルで、30~60人で漕ぎます。競争の時、太鼓
おと あ ちーむめんばー ふね こ ゆうしょうちーむ こううん
の音に合わせてチームメンバーは舟を漕ぎ、優勝チームは幸運に
しあわ せいかつ い いま こくさい
なり、幸せな生活ができると言われているそうです。今は国際
たいかい ひら すぽーつきょうぎ
大会も開かれているスポーツ競技です。

ちまき たんごせつ た でんとうてき た もの みず ひた こめ
粽は端午節で食べられる伝統的な食べ物です。水に浸したもち米
たけ は つつ ゆ む た ちゅうごく ちほう
を竹の葉で包み、茹でたり蒸したりして食べます。中国では地方
ちまき あじ ちが きた ちいき ごめ
によって、粽の味も違います。北の地域では、もち米だけか、な
い しゅりゅう た さとう た
つめを入れるのが主流です。食べる時、砂糖につけて食べます。
みなみ ちいき あじつ にく は む たまご い しおから
南の地域では、味付けしたお肉やハム、卵などを入れて塩辛い
ちまき この にほん ちゅうかちまき にくちまき おお
粽が好まれます。日本では、「中華粽」というのは「肉粽」が多
ねんあま れきし も ちゅうごく たんごせつ ねん
いです。2000年余りの歴史を持った中国の端午節は、2009年に
ゆ ね す こ せかいむけいぶんかいさん とうろく
ユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。

にほん ふる しりょう たんごせつ へいあんじだい ねん ねん
日本の古い資料によると、端午節が平安時代（794年～1185年）に
ちゅうごく にほん つた たんご せつく よ
中国から日本に伝わっていたそうです。「端午の節句」と呼ばれ、
おとこ こ すこ せいちょう いの ぎょうじ ていちゃく
男の子の健やかな成長を祈る行事として定着していきました。
いま まいとし がついつか こくみん しゅくじつ ひ
今では毎年の5月5日は国民の祝日「こどもの日」になっています。
おとこ こ かにい こい た
男の子のいる家庭は鯉のぼりを立て
おとこ こ こんなん の こ しゅつせ
て、男の子が困難を乗り越え、出世す
いの こい まつ
ることを祈ります。鯉のぼりのお祭りも
いろ おお こい
あります。色とりどりの多くの鯉のぼり
そら ま うつく こうけい にほんどくとく
が空を舞う美しい光景は日本独特の
ふうけい
風景です。



じぎょうすいしんがかり 事業推進係からのお知らせ

ぶんかこうりゅう じょうほう こ な りょう <文化交流ひろば情報コーナーをご利用ください>

にほんごがくしゅう じょうほう がいこくじん せいかつじょうほう たげんご ていきょう
日本語学習の情報や外国人のための生活情報などを多言語により提供します。

ぼしよ ねりまくひかり おか
【場所】 練馬区光が丘3-1-1

でんわ
【電話】 03-3975-1252

かいせつにちじ へいじつ ごぜん じ ごご じ ど にち しゆく ごご じ じ
【開設日時】 平日（午前10時～午後1時）、土・日・祝（午後1時～4時）

ねんまつねんし ぶんかこうりゅう きゅうかんび のぞ
※年末年始など「文化交流ひろば」休館日を除く

たいおうげんご えいご か もく ど ちゅうごくご すい きん にち かんこくご げつ
【対応言語】 英語（火・木・土）、中国語（水・金・日）、韓国語（月）

たげんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

がいこくごそうだんまどぐち りょう <外国語相談窓口をご利用ください>

ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり えいご ちゅうごくご かんこくご たがるごご にほんご
地域振興課事業推進係では、英語・中国語・韓国語・タガログ語・日本語でいろ
いろいろな相談ができます。電話での相談も受け付けます。

ぼしよ ちいきしんこうか くやくしよほんちようしゃ かい ねりまくとよたまきた
【場所】 地域振興課（区役所本庁舎9階） 練馬区豊玉北6-12-1

でんわ
【電話】 03-5984-4333

かいせつにちじ へいじつ ごご じ じ
【開設日時】 平日（午後1時～5時）

たいおうげんご えいご げつ きん ちゅうごくご げつ きん かんこくご きん たがるごご げつ
【対応言語】 英語：月～金、中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月

たげんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

にほんじん がいこくじん こうりゅう いべんと かいさい くわ <日本人と外国人が交流できるイベントなどを開催しています。詳しくはこちら>

くこうしき
【区公式HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

こーど
【QRコード】



ねりまくちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり
練馬区地域振興課事業推進係

〒176-8501

ねりまくとよたまきた
練馬区豊玉北6-12-1

ねりまくやくしよほんちようしゃ かい
練馬区役所本庁舎9階

でんわ
電話03（5984）4333

e-mail:CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

へんしゅう ぶんかこうりゅう
編集：文化交流ひろば

ひかり おか
（光が丘3-1-1）

たげんごじょうほうしえんいん
多言語情報支援員

さとう ゆきえ ちゅうごくごたんとう
佐藤 雪恵（中国語担当）

そ きすく かんこくごたんとう
徐 基淑（韓国語担当）

にしうら じゅんこ えいごたんとう
西浦 潤子（英語担当）